

2011（平成23）年度東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 言語研修生募集要項

アジア・アフリカ地域での現地調査研究やその他の専門的業務に役立たせることを目的として、現地語の会話・読み書きなどの基礎学習を中心とした言語研修を短期集中的に実施しています。この研修は、日本の専門研究者と母語話者が一緒に教授にあたる生きた言語教育であるのが特徴となっています。
今年度は、シベ語、アムハラ語、客家語の言語研修を別記実施要領に基づいて実施しますので、受講希望者は下記により申し込んで下さい。

1. **募集言語** シベ語, アムハラ語, 客家語
2. **募集人員** 各言語 約 10 名
3. **募集期間** 2011 年 5 月 6 日（金）～ 2011 年 5 月 31 日（火）
受付時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（土・日曜日を除く）
郵送の場合は、5 月 31 日（火）消印有効締切です。
4. **応募資格** 上記の目的に必要な学力及び社会的経験を有する人。
5. **応募方法** 所定の受講申込書に記入の上、在学証明書又は最終学校の卒業証明書（写）を添えて、下記「11. 申込み先」に申し込んで下さい。
6. **選考方法** 当研究所で書類審査により選考します。
7. **選考結果** 受講の可否は、6 月下旬までに本人あて通知します。
8. **受講手続** 受講を許可された者は、7 月 20 日（水）までに、研修言語ごとに定められた額の受講料を一括納付して下さい（受講料額：各言語別記参照）。
選考結果とともに郵送します本研究所所定の用紙にて御納入下さい。
9. **修了証書** 所定の課程を履修した方には、審査のうえ修了証書及び成績証明書を交付します。
10. **その他** 文化講演として、担当講師以外の外部講師を招いた授業を取り入れています。
11. **申込み先** 東京外国語大学／研究協力課共同研究拠点係
〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
TEL 042-330-5603, FAX 042-330-5610
Email kenkyu-zenkoku@tufs.ac.jp

シ ベ 語 実 施 要 領

研修言語及び研修生

中国新疆ウイグル自治区で話されているシベ語の基礎的な運用能力を身に付けることを目標とします。シベ語は満洲語の方言なので、満洲語についても基本的な構造を理解することを目指します。

この授業では、シベ語の発音から始めて、単語の作り方、文の作り方について、ステップワイズに言語学的な知識を習得していきます。それと並行して、ネイティブスピーカーの協力を得て、基本的な運用能力を身に付けるべく、練習を積む予定です。

本研修は、シベ語の初学者を対象としており、受講者のシベ語学習経験は問いません。

研修期間及び研修時間

2011年8月15日(月)～2011年9月16日(金) 100時間

午前10時00分～午後3時20分(土曜日・日曜日は休講)

受講料 60,000円(教材費込み)

担当講師 久保 智之
児倉 徳和
庄声

研修会場 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
(〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1)

アムハラ語実施要領

研修言語及び研修生

アムハラ語はアフリカの北東部、エチオピアで広く共通語として使われているセム系の言語です。

この授業では全くの初歩から始めて、アムハラ語の簡単な日常会話や読み書きが出来るようになることを目標とします。独特の文字、日本語や西洋の言語では使われない音声、煩雑な動詞の活用、等々、最初から最後まで少々大変かも知れませんが、授業では先に習った事を忘れないよう、反復練習を重視します。

アムハラ語のようにあまり馴染のない言語で単なる挨拶レベルを超えた力を付けるためには、文法を一通り頭に入れておき、身体にも染み込ませておくのが有効だと思われます。今回の研修はそのための数少ないチャンスだと思われるので、本格的にエチオピアと関わりたい方には是非受講をお勧め致します。

授業は日本人講師による解説とネイティブ講師との練習を組み合わせる予定です。前者は単なる説明ではなく、講師自身の現地・現場での経験や対照言語学的な視点を存分に活かしたものとしします。後者の実地練習には恥ずかしがることなく、積極的に声を出して戴ければと思います。

また、アムハラ語やそれを取り巻くエチオピアの状況を総合的に、また相対的に捉えられるよう、いくつかの文化講演も行う予定です。

研修期間及び研修時間

2011年8月15日(月)～2011年9月16日(金) 125時間

午前10時00分～午後4時30分(土曜日・日曜日は休講)

受講料 75,000円(教材費込み)

担当講師 若狭 基道
Gebeyehu Ayela Tessema

研修会場 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
(〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1)

客 家 語 実 施 要 領

研修言語及び研修生

客家語は漢語諸語の1つで、中国大陸だけでなく台湾や東南アジア等でも話されています。本授業では、台湾の南部で話されている客家語の一方言を学びます。発音、基本文法を習得することで、簡単な日常会話や昔話の内容の理解ができるようになることを目標とします。

客家語を「聞き、話す」ための言語能力を身につけられるよう、特に発音や基本文法、会話に重点をおいた授業を行います。また、台湾の教育部が試用を始めたローマ字表記法を学び、台湾で編纂された辞書や参考資料などを研修後に参照する際の助けとなるようにします。台湾の客家人の暮らしぶりについても適宜紹介したいと思います。

本授業は、客家語の初学者を対象とします（漢語諸語の学習経験は問いません）。音声や文法、練習問題の説明は日本人講師が担当し、会話や聞き取りなどの練習はネイティブ講師が中心に行います。

研修期間及び研修時間

2011年8月10日（水）～ 2011年9月9日（金） 115時間
午前10時00分～午後4時30分（土曜日・日曜日は休講）

受講料 69,000円（教材費込み）

担当講師 田中 智子
黄 鴻松

研修会場 新大阪丸ビル本館10階
(〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-5)

会場へのアクセス

[シベ語, アムハラ語]

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

TEL 042-330-5603, FAX 042-330-5610



西武多摩川線多磨駅から徒歩約 5 分

京王線飛田給駅から京王バスで東京外国語大学前停留所下車、徒歩 2 分 (バス所要時間約 10 分)

[客家語]

新大阪丸ビル本館 10 階

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-18-5



東海道新幹線・東海道本線 (JR)

「新大阪」駅下車、東口より徒歩 3 分

地下鉄御堂筋線

「新大阪」駅下車、徒歩 5 分